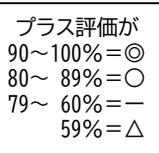


# 学校評価特集号

令和8年3月10日発行

学校の教育目標に関するアンケートにご協力くださりありがとうございます。  
 楯岡小学校では、学校教育目標「志 感動 笑顔 ～自らの志の実現を目指して、社会の中でよりよく生きる子供～」を目指して、子供たちの指導にあたってきました。保護者の方と子供たちの声、そして子供たちの姿から指導の在り方を振り返り、来年度の教育計画づくりの大切な資料とさせていただきます。  
 この特集号では、アンケートの集計結果と、その結果から分かったことや学校としての対応についてお知らせします。

## アンケート集計と考察



### 学校教育全体(保護者・教員)

|     |   | 0% | 20% | 40% | 60% | 80% | 100% | プラス評価<br>A+B | マイナス評価<br>C+D |   |
|-----|---|----|-----|-----|-----|-----|------|--------------|---------------|---|
| 保護者 | 1 学校は、学校教育目標のもと、学校行事等の学習活動で実行委員会を立ち上げるなどして、子供たちが主体となって活動する機会の充実を目指している。 |    | 50  |     | 45  |     | 4    | 95           | 5             | ◎ |
|     | 2 学校は、子供たちの立場に立って、丁寧に学習指導や生徒指導を行っている。                                   |    | 37  |     | 53  |     | 8    | 90           | 10            | ◎ |
|     | 3 学校は、家庭や地域との連携を大切にして、開かれた学校づくりに努めている。                                  |    | 38  |     | 52  |     | 8    | 90           | 10            | ◎ |
|     | 4 学校は、学校だよりや学級だより、ホームページなどで、教育活動をよく伝えている。                               |    | 57  |     | 35  |     | 7    | 92           | 8             | ◎ |
| 教員  | 1 学校は、学校教育目標のもと、学校行事等の学習活動で実行委員会を立ち上げるなどして、子供たちが主体となって活動する機会の充実を目指している。 |    | 56  |     | 40  |     | 4    | 96           | 4             | ◎ |
|     | 2 学校は、子供たちの立場に立って、丁寧に学習指導や生徒指導を行っている。                                   |    | 38  |     | 53  |     | 7    | 91           | 9             | ◎ |
|     | 3 学校は、家庭や地域との連携を大切にして、開かれた学校づくりに努めている。                                  |    | 60  |     | 38  |     | 2    | 98           | 2             | ◎ |
|     | 4 学校は、学校だよりや学級だより、ホームページなどで、教育活動をよく伝えている。                               |    | 73  |     | 24  |     | 2    | 98           | 2             | ◎ |

学校教育全体の評価は、すべての項目で90%以上となり、概ね高評価でした。

令和5年度から「自分で・自分たちで 考える 決める 行動する」をスローガンとして取組を始め、今年で3年目を迎えました。子供たちが自ら学び、仲間とともに学ぶことを楽しいと感じられるよう教育活動の充実を図ってきたことが、高く評価されています。

#### 【今後も継続していく内容】

- 学校行事等の学習活動で実行委員会を立ち上げるなどして、子供たちが主体となって考え、決断し、行動する機会をさらに充実させていきます。
- 「学年担任・学級担当制」を取り入れ、一人一人の児童を複数の教員で見守る体制を整えていきます。
- 新しい教育への共通理解を深めていくため、学校だよりやホームページ、さくら連絡網等で、学校の方針や子供たちの活躍の様子を積極的に発信していきます。



# 学校生活(保護者・児童・教員)

|     |   | 0% | 20% | 40% | 60% | 80% | 100% | プラス<br>評価<br>A+B | マイナス<br>評価<br>C+D |   |
|-----|---|----|-----|-----|-----|-----|------|------------------|-------------------|---|
| 保護者 | 5 お子さんは、学校生活を楽しいと感じている。   | 45 | 42  | 10  | 3   |     |      | 87               | 13                | ○ |
|     | 6 お子さんは、授業が分かり、学ぶことを楽しいと感じている。  | 25 | 48  | 22  | 5   |     |      | 73               | 27                | — |
|     | 7 お子さんは、担任やクラスのみんなから認められ、良好な人間関係を築くことができる。  | 27 | 61  | 11  | 1   |     |      | 88               | 12                | ○ |
|     | 8 お子さんは、やりたいことや困っていることがあるときに、他の人に相談したり、話し合ったりして、実現や解決に向けて行動しようとしている。<br>《じぶん・なかま》 | 28 | 47  | 21  | 4   |     |      | 75               | 25                | — |
|     | 9 お子さんは、本に親しみ、気持ちを表す言葉を少しずつ増やしながらか、自分の感じたことや考えを文章に表そうとしている。<br>《よむ・かく》            | 21 | 34  | 32  | 13  |     |      | 55               | 45                | △ |
|     | 10 お子さんは、友達や先生の話をよく聞き、自分の気持ちや考えを分かりやすく話そうとしている。<br>《きく・はなす》                       | 24 | 50  | 22  | 4   |     |      | 74               | 26                | — |
| 児童  | 5 学校で、楽しく生活している。  | 60 | 27  | 10  |     |     |      | 90               | 10                | ◎ |
|     | 6 授業が分かり、楽しいと感じている。   | 41 | 46  | 9   |     |     |      | 91               | 9                 | ◎ |
|     | 7 友達や先生にほめられたり、はげまされたりして、認められていると感じている。   | 39 | 45  | 13  |     |     |      | 84               | 13                | ○ |
|     | 8 やりたいことや困っていることがあるときに、他の人に相談したり、話し合ったりして、実現や解決に向けて行動しようとしている。<br>《じぶん・なかま》       | 43 | 44  | 11  |     |     |      | 87               | 11                | ○ |
|     | 9 本をたくさん読み、気持ちを表す言葉を少しずつ増やしながらか、自分の感じたことや考えを文章に表そうとしている。《よむ・かく》                   | 23 | 48  | 29  |     |     |      | 71               | 29                | — |
|     | 10 友だちや先生の話をよく聞き、自分の気持ちや考えを分かりやすく話そうとしている。<br>《きく・はなす》                            | 42 | 46  | 12  |     |     |      | 88               | 12                | ○ |
| 教員  | 5 児童は、学校生活を楽しいと感じている。   | 23 | 64  | 13  |     |     |      | 87               | 13                | ○ |
|     | 6 児童は、授業が分かり、学ぶことを楽しいと感じている。  | 21 | 57  | 22  |     |     |      | 78               | 22                | — |
|     | 7 児童は、担任やクラスのみんなから認められ、良好な人間関係を築くことができる。  | 17 | 59  | 24  |     |     |      | 76               | 24                | — |
|     | 8 児童は、やりたいことや困っていることがあるときに、他の人に相談したり、話し合ったりして、実現や解決に向けて行動しようとしている。<br>《じぶん・なかま》   | 26 | 54  | 20  |     |     |      | 80               | 20                | ○ |
|     | 9 児童は、本に親しみ、気持ちを表す言葉を少しずつ増やしながらか、自分の感じたことや考えを文章に表そうとしている。《よむ・かく》                  | 11 | 49  | 38  | 2   |     |      | 60               | 40                | — |
|     | 10 児童は、友達や先生の話をよく聞き、自分の気持ちや考えを分かりやすく話そうとしている。<br>《きく・はなす》                         | 27 | 58  | 15  |     |     |      | 85               | 15                | ○ |

## ▼「質問5」の自由記述

|     |   |
|-----|---|
| 保護者 | 友達と遊んだり話したり協力して活動するとき。学校行事や校外学習、クラブ活動、児童会活動など、児童が主体となって活動しているとき。体育や好きな教科、ものづくりや音楽の授業をしているとき。難しい勉強が分かったり目標を達成できたとき。など  |
| 児童  | 友達と一緒に学習したり遊んだりしているとき。分からないことがあって困ったときに、友達から聞いて解決できたとき。学校行事に向けて、友達や違う学年の人と力を合わせて取り組んでいるとき。クラスや学年で協力して行事等を成功させたとき。など   |
| 教員  | 友達と協力しながら、学習に取り組んでいるとき。学校行事や児童会活動など自分で自分たちで主体となって生活している、学習しているとき。授業の中で、分かったという実感があるとき。外部講師から興味深い情報を得たり、新しい発見ができたとき。など |

学校教育目標を達成するための教育スローガン「3COMS」が保護者・児童に浸透し、意識して学校生活を送ることができています。

全体として、学年や学級、そして学校全体で子供たちの仲間づくりや一人一人の自主性を育むことをねらいとして取り組んできたことが評価されました。特に「質問5(学校生活を楽しいと感じるとき)」の自由記述からは、子供たちが友達と一緒に活動したり、外部講師から学んだりすることに喜びを感じていることがわかります。

### 【今後も継続していく内容】

- 外部講師を中心としたすばらしい地域の人材や、楯山や大倉地域などの豊かな自然から体験的に学ぶ機会を積極的に設けていきます。
- 学年担任団で情報を共有しながら児童理解と教材研究を深め、より分かる授業づくりに努めます。



# 家庭生活(保護者・児童・教員)

|     |    | 0%  | 20% | 40% | 60% | 80% | 100% | プラス<br>評価<br>A+B | マイナス<br>評価<br>C+D |    |    |    |    |   |
|-----|----|---|-----|-----|-----|-----|------|------------------|-------------------|----|----|----|----|---|
| 保護者 | 11 | お子さんから学校での様子を聞いたり、家庭学習の様子を見たりする機会を設けている。      |     |     |     |     |      | 45               | 46                | 8  | 92 | 8  | ◎  |   |
|     | 12 | 学校で配られた配付物を、お子さんから受け取り、目を通している。               |     |     |     |     |      | 52               | 33                | 11 | 4  | 90 | 10 | ◎ |
|     | 13 | お子さんは、家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。                    |     |     |     |     |      | 26               | 44                | 21 | 9  | 70 | 30 | — |
|     | 14 | お子さんは、学校や学級、社会のきまりを守って生活している。                 |     |     |     |     |      | 43               | 45                | 11 | 1  | 88 | 12 | ○ |
|     | 15 | お子さんは、早寝・早起きを心がけ、朝ごはんをしっかりと食べている。             |     |     |     |     |      | 43               | 41                | 15 | 1  | 84 | 16 | ○ |
|     | 16 | お子さんは、家庭で読書に親しんでいる。                           |     |     |     |     |      | 14               | 22                | 36 | 28 | 36 | 64 | △ |
|     | 17 | お子さんは、メディア(テレビやゲーム、タブレット等)について、ルールを守って利用している。 |     |     |     |     |      | 16               | 33                | 39 | 12 | 49 | 51 | △ |
| 児童  | 11 | 学校での生活や勉強したことを、おうちの人に話している。                   |     |     |     |     |      | 49               | 32                | 19 |    | 81 | 19 | — |
|     | 12 | 学校で配られたものを、おうちの人に見せている。                       |     |     |     |     |      | 62               | 25                | 13 |    | 87 | 13 | ○ |
|     | 13 | 家庭学習(授業の復習や予習など)で取り組んだことが、授業で生かされていると感じる。     |     |     |     |     |      | 54               | 37                | 9  |    | 91 | 9  | ◎ |
|     | 14 | 学校や学級、社会のきまりを守って、けじめのある生活ができています。             |     |     |     |     |      | 45               | 46                | 9  |    | 91 | 9  | ◎ |
|     | 15 | 早寝・早起きを心がけ、朝ごはんをしっかりと食べている。                   |     |     |     |     |      | 48               | 41                | 11 |    | 89 | 11 | ○ |
|     | 16 | 図書館に行ったり、本を借りたりして、読書に親しんでいる。                  |     |     |     |     |      | 25               | 45                | 30 |    | 70 | 30 | — |
|     | 17 | タブレットを学習の中で活用している。(意見の交流、学習のまとめ、調べ学習等)        |     |     |     |     |      | 56               | 37                | 7  |    | 87 | 13 | ○ |
| 教員  | 11 | 家庭は、児童から学校での様子を聞いたり、家庭学習の様子を見たりする機会を設けている。    |     |     |     |     |      | 11               | 72                | 14 | 2  | 84 | 16 | — |
|     | 12 | 児童は、学校で配られた配付物を、保護者に見せている。                    |     |     |     |     |      | 11               | 71                | 18 |    | 82 | 18 | ○ |
|     | 13 | 児童は、家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。                      |     |     |     |     |      | 13               | 69                | 18 |    | 82 | 18 | ○ |
|     | 14 | 児童は、学校や学級、社会のきまりを守って生活している。                   |     |     |     |     |      | 11               | 53                | 33 | 2  | 85 | 35 | ○ |
|     | 15 | 児童は、早寝・早起きを心がけ、朝ごはんをしっかりと食べている。               |     |     |     |     |      | 9                | 71                | 20 |    | 80 | 20 | ○ |
|     | 16 | 児童は、図書館に行ったり、本を借りたりして、読書に親しんでいる。              |     |     |     |     |      | 2                | 51                | 36 | 11 | 53 | 47 | △ |
|     | 17 | 児童は、メディア(テレビやゲーム、タブレット等)について、ルールを守って利用している。   |     |     |     |     |      | 2                | 37                | 50 | 11 | 39 | 61 | △ |

担任が一律に決める画一的な宿題から、児童自身が取り組みたい内容を選ぶ家庭学習へ本格的に移行してから2年目を迎えます。家庭でも学習の様子を見守っていただき、継続的な取組になってきていることに感謝します。

一方で、テレビ・ゲーム・タブレット等のメディア利用増加、読書機会の減少は依然として課題です。

PTAの読み聞かせ等の取組を踏まえ、学校・家庭・地域が連携して読書習慣の定着を図るとともに、家庭学習の授業連動化、メディア利用の家庭・学校連携、情報モラル教育の強化、読書推進を重点的に進めていきます。

## 【今後も継続していく内容】

- 自ら課題を見付け、取り組む内容を決める家庭学習を継続します。学校は家庭学習(復習・予習)と授業が連動するよう、授業改善に努めます。
- 村山警察署を講師に招き、「スマートフォン・SNS安全教室」を継続実施します(令和8年度も3年生以上を対象に実施予定。必要に応じて1~2年生から実施)。



- 今の社会では、メディアが生活の中心に深く入り込んでしまっていると感じる。子供たちにとってメディアは“当たり前にあるもの”になっているので、正しい使い方を継続的に学ばせる必要がある。学校だけで指導するのでは限界があるので、家庭でも“持たせたら終わり”ではなく、目的やルールをきちんと話し、家庭が責任をもって関わっていくことが大切だと思う。
- AIは肯定的な返答をすることが多く、児童が“自分はこれでいいんだ”と誤った自己肯定感をもつおそれがある。現実の社会は必ずしもそうではなく、否定される場面や厳しい指摘を受けることもあるので、そのギャップに耐えられるのか心配している。また、最近はAIがもっともらしい“うそ”をつくことが話題になっている。子供たちには、情報を批判的に読み取り、真偽を見極める目を育てることが必要だと感じている。
- SNSや動画などを見ている子供の表情の変化が乏しいことが気になっている。画面を見る時間が長くなるほど、心の動きが外に出にくくなっているのではないかと感じる。学校評価アンケートの結果を見ても、家庭で本に触れる時間が減っていることが分かり、言葉の力や感性が育つ機会が少なくなっていることが心配だ。メディアを通じて知識は増えているように見えるが、それに比べて精神面や体力面が弱くなってきているのではないかと。
- LINEでの仲間外れが起きているという話や、オンラインゲーム上で実際に会ったことのない人と一緒に遊んでいる子供がいると聞き、不安がある。直接顔の見えない相手と関わる以上、家庭が子供の利用状況をしっかり把握し、必要な声かけやルールづくりを行わなければならないと思う。
- 家庭が核家族化していることもあり、祖父母や近所との関係が薄れてきている。以前のように“地域の誰もが子供を見守る”という環境が減ってしまっていると感じる。地域の組織や子ども会育成会を中心に、地域全体のつながりを作り直し、子供を多方面から支えられるようにしていくことが大事だと思う。
- 子供たちがとても多様になってきており、求められる支援も一人一人違う中で、先生方がしっかり向き合ってくれていると感じている。この姿勢を今後も継続し、子供の特性に応じて丁寧に寄り添いながら関わってほしい。

## 今後大切にしていきたいこと

### 1 ゆとりある教育課程と集団づくり

今年度から始めた午前4時間授業では、子供たちがゆとりをもって学校生活を送れるようになり、友達との関わりにも良い変化が見られました。この成果を生かし、次年度も継続して取り組んでまいります。

生活班(4~5人)での班活動を学級づくりの柱に通して、「自分たちのクラスは自分たちでつくる」という気持ちを育てていきます。学級会や委員会活動、クラブ活動など、意見を出し合ったり協力したりする場も計画的に設け、仲間と安心して過ごせる学校づくりを進めてまいります。



### 2 地域のひと・もの・ことから学ぶ

地域の方々や自然、文化にふれる体験的な学びを、これまで以上に大切にしていきます。教員も地域の魅力や課題について学びながら、授業の中に実際の生活や社会につながる学びを取り入れていきます。育成会や地域団体、外部講師など、地域の大人のみなさんと手を取り合い、地域に見守られ、地域に学び、地域に貢献する子供たちの育ちを応援していきます。



### 3 メディアとの向き合い方と読書の充実を家庭と共に

SNSやオンラインゲーム、そしてAIとの関わり方について、学校と家庭で協力しながら、安全で健全な使い方を身に付けられるようにしていきます。AIが誤った情報を示すことがあることなども理解し、情報を見極める姿勢を育ててまいります。

あわせて、本に触れる機会を増やすため、朝読書や読み聞かせ、図書室の活用を一層充実させます。家庭と連携しながら、読書に親しむ時間や外で体を動かす機会を増やし、子供たちの心と体がより豊かに育つよう支えていきます。

